

故本會名譽會員

獨逸國 樞密顧問官 フリッツ・ヴェスト博士小傳

故フリッツ・ヴェスト博士は千八百六十年七月八日獨逸國スツッガルト市に生れ同市の工業大學に學び後フライベルヒ大學に於て理化學及地質學の課程に入り一八八六年ドクトル・フィロソフイーの學位を得、卒業後一八八六年より一八九一年に至る五年間氏の生地に於けるワセラルフィンゲン製鐵所に従事し製鐵事業に干與せり。時恰も獨逸國にては鍊鋼時代より鋼鐵に變遷の黎明期にして當時創めてトーマス爐作業の開始せられたる頃なり。一八九一年デュイスブルグ市の州立冶金學校に招聘せられ、爾來十年友人ボルヘル氏と共に冶金學生の育成に従事せり。一九〇一年以來アーヘンに於ける工業大學に鐵冶金學の講座を擔任し、我冶金學留學生にして同氏の薰陶を受けたるもの亦尠からず。世界大戰の中期一九一七年獨逸鐵鋼協會及獨逸鐵冶金業者の協力により、カイザーウィルヘルム研究所に於て、鐵鋼の科學的研究を目的とせる綜合研究所の所長として、創立の任に當りて活躍し、その後一九二三年閑地に就きたるも、尙ほ依然同所に關係して研究所の指導に當り多種なる科學的並に工學的問題に携はれり。尙ほ氏は獨逸國鐵鋼協會の仕事に對しても尠なからざる功獻をなし、殊に冶金技術者の教養問題に關しては氏の提言に負ふ所多大なるのみならず、獨逸鐵鋼協會の年次大會の席上其出席を見ざるは極めて稀なりしと云ふ。要するに氏の生涯は鐵冶金術に關する幾多の研究と後進學生の指導に在り、而してその指導の根本的の原則として先づ學生に對し、理化學の基礎的の教養を與ふると同時に實驗室に於て種々の疑問を解決す可き推理力の修養に努めしめ、更に之の推理の力に依り工學的技術的作業の進歩發展を招來す可き實力を修成せしむるにありたるものゝ如し。氏は此獨想的教育主義により終始一貫冶金技術者の教養に當り獨り獨逸國內のみならず、世界各國も亦製鐵學術及技術の進歩發達に關し氏に負ふ處尠なからざりしなり。宜なるかな其功績は内外各方面の認むる處となり、スツッガルト市工業大學並にレオベン大學は氏を名譽博士にスツッガルト及アーヘン工業大學は氏を名譽教授に獨逸國鐵鋼協會は氏を名譽會員に列し、且つカールリュエグメタルを授與して氏の功績を表彰し且つ獨逸鐵業組合、英國鐵鋼協會は氏を名譽會員に推薦し、我日本鐵鋼協會も亦昭和五年四月一日氏を名譽會員に推薦せり。氏は近年健康を害し長患の後本年三月二十日終に永眠せらる。今や我友邦たる獨逸國の碩學にして斯界の權威たる氏の長逝を見たるは眞に痛惜に堪えざる所なり。訃報傳るや本會は直ちに弔電を發して、氏の遺族を慰問せり。